

TAKEOFF!

Vol.2

新文化交流施設エリアを考える 市民ワークショップ 第2弾



「模型を工夫して、
できるがイメージを
きき取りたい」

もち

1ヶ月

たっ

- ◇大ホール
 - ・県出身アーティストの定期ライブ
 - ・中高生の部活動の演奏会
- ◇多目的ホール
 - ・パブリックビューイング
 - ・カラオケ大会
 - ・2階の多目的ホール壁からホール催事覗けるとよい
- ◇駐車場
 - ・バス停設置
 - ・駐車スペースが屋根付きで搬入に便利でよい
 - ・駅～文化会館間のバス
- ◇エントランスホール
 - ・譲渡会
 - ・武雄市の物産まつり
- ◇公民館
 - ・みんなが使えるフリーWi-Fi
- ◇カフェ
 - ・佐賀や武雄のお土産が買える
- ◇交流スペース
 - ・浮立等の文化交流会

- ◇大ホール
 - ・大ホールと共有できる壁面が鏡のリハーサル室
- ◇多目的ホール
 - ・常設の舞台が必要(100席ほど)
 - ・反響板を設置し多目的ホールにステージを
 - ・内側からも外側からも観られるステージを
- ◇駐車場
 - ・車椅子ユーザー向け駐車場の屋根の整備
- ◇トイレ
 - ・洋式化、女性用トイレに男児用のトイレも
- ◇事務室
 - ・事務室をメイン棟に置かず別に移す
- ◇ギャラリー
 - ・写真コンテスト
- ◇創作室
 - ・陶芸体験
- ◇調理室
 - ・地元野菜を使ったクッキング教室
- ◇諸室
 - ・防災教室、高齢者向けデジタルツールの講習会
 - ・ゆるスポーツ体験、ヨガ教室
 - ・ダイアローグインザダーク(目の不自由さを体験)
 - ・囲碁、将棋、eスポーツ等の教室

- ◇大ホール
 - ・イベントがない日も大ホールを開放する
 - ・大ホールのトイレが混雑する時に使えるトイレ
- ◇多目的ホール
 - ・ピアノ発表会や活動の発表会
 - ・多目的ホールの可動式イス
 - ・小さくてよいのでも1カ所エレベーターがほしい
- ◇公民館
 - ・武雄の陶器の破片を壁や通路に埋め込む
 - ・武雄焼紹介、登り坂をトンバイ堀にして体験の場に
- ◇カフェ
 - ・子ども食堂
 - ・お茶を飲みながらおしゃべりする
 - ・武雄の名物になるようなメニューを
 - ・葉草ソフトクリーム
- ◇創作室
 - ・陶芸体験したいがこの場所で大丈夫か？
- ◇調理室
 - ・オープンキッチンで公開料理教室、特産品開発ワークショップ
 - ・キッチンを工夫するかキッチン付近に食事スペース
- ◇和室
 - ・着物の着付け教室
- ◇大会議室
 - ・各種団体が会議や講演会できる仕切り付部屋
 - ・プロアマ問わず写真や絵画作品展示

- ◇庭園
 - ・ライトアップ、イルミネーション、フォトスポット
 - ・子どもの遊ぶスペース、外にテラス席
 - ・キッチンカー、マルシェ
 - ・スケッチ大会
 - ・建物全体の設計のイメージがモダンでよい
- ◇蔵
 - ・アロマサークル
- ◇共用部
 - ・大人が将棋をしているところに学校帰りの学生が立ち寄り勝負
 - ・スタンブラリーイベント
 - ・ストリートピアノの設置
 - ・外から中の様子が見えると私も参加してみたいと思う
 - ・カウンターテーブルにコンセント
 - ・図書館で本を借り黒門通って新文化交流施設で読書
 - ・多目的コーナーのオープンな雰囲気がよい
- ◇施設全体
 - ・クスノキを活かした設計やデザインがよい
 - ・子どもたちが楽しめるワークショップイベント
 - ・屋内と屋外との一体化ほしい

- ◇庭園
 - ・庭園の手入れのワークショップ
 - ・ポニー乗馬体験
 - ・庭園にある二本の桜を活かして永い春を演出
 - ・スケッチ大会
 - ・庭園にある小川を結界として反対側に舞台を
 - ・池の囲いに東屋を作り若者のたまり場に
 - ・季節ごとの園芸コンテスト
 - ・未就学児や要ケア児向けの野内外コンサート
 - ・野外映画上映会
 - ・野点ワークショップ、武雄大茶会
- ◇蔵
 - ・蔵の中は常設の茶室や喫茶
- ◇黒門通り
 - ・紅葉を楽しめる歩道やベンチなどを設置
- ◇施設全体
 - ・道路を広げて安全に
 - ・スロープには踊り場が必要
 - ・人が集るように子どもが遊べる施設がほしい
 - ・2Fへのエレベーターは1カ所だけでなく2カ所
 - ・現施設利用団体が継続して利用できる施設のあり方を
 - ・いろいろな文化団体が育つ施設というコンセプト

- ◇庭園
 - ・芝生でドッグラン
 - ・庭園バックにミュージカル、ダンスイベント
 - ・庭園前でスポーツチャンバラ
 - ・野外音楽フェス、野外コンサート
 - ・庭園で遊ぶ子どもたち用外付けトイレ
 - ・歴史の分かる案内板の設置
- ◇池
 - ・鍋島の薬草園があった印を残せたら
 - ・子どもや観光客向け鯉に餌やりできる池
 - ・昔薬草園だったので池前スペースで健康茶講座
- ◇蔵
 - ・狭い蔵の使い方として武雄の歴史を知る展示場所
- ◇スタジオ
 - ・スタジオの壁を鏡張りの部屋に
- ◇共有部
 - ・踊り場等共用スペースで英会話教室
 - ・共用スペースでフリーな演奏コーナー
 - ・親の迎えを待つ間勉強する
 - ・そこにいる大人に宿題を教えよう
 - ・足湯や指湯を共用スペースに
- ◇施設全体
 - ・WCの数少ない？
 - ・エレベーターの数

誰もが使いやすい施設に！

また、トイレの数やエレベーターの位置、廊下の幅についても多くのコメントが集まり、便利な施設が求められているのだと再確認しました。全ての世代の方々に使って局一同引き続き検討を進めてまいります！

共用スペースを活用して賑わい創出を

新文化交流施設の計画において大事にしているのは「庭園との一体感」と開かれた共用スペースです。現時点での設計案も外とゆるやかにつながるデザインになっており、「オープンスペース」で色々なイベントや活動があるというこの「意見」がありました。具体的には「踊り場などの共用スペースでの英会話教室」や「共用スペースでの演奏コーナー」、「大人が将棋をしているところに学校帰りの学生が立ち寄り勝負」などの催物がない日でも、常に人が集まり、自然と交流が生まれるような場所にしていきたいです。

参加者の声

令和6年1月13日(土)、武雄市文化会館にて2回目の市民ワークショップが開催されました。今回は、設計業務を担当されている坂本・o+o設計チームにもご参加いただき、検討中の模型や図面を見ながらグループワークを行いました。昨年度から話し合ってきた内容がようやく形として見えてきたことで、これまで以上に白熱したワークショップとなりました。挙げられたアイデアを、ご紹介いたします。

お問い合わせ先

武雄市
こども教育部文化課
新文化交流拠点整備室

電話
0954-23-9181
FAX
0954-23-9811
E-mail
bunka@city.takeo.lg.jp

次回予告

テーマ
どんなルールだと
使いやすいか
考えてみよう！

模型を前にすると発想が広がりました。

オープンでゆったりとした空間づくりはとても良いと思います。

武雄の子ども達が育っていく一大拠点にしてほしい。

同グループの方から文化会館の歴史を聞くことができ参加して良かったです。

新文化交流施設エリアを考える市民WSかわら版は武雄市ホームページにも掲載中です！